

# 15 心臓血管外科フェロー研修要綱

心臓血管外科修練カリキュラム

指導責任者 村山 弘臣

基本事項(行動目標)

1. 心臓・血管系の発生, 構造と機能を理解し, 疾患の病因, 病態生理, 疫学に関する知識を持つ.
2. 心臓疾患・血管疾患の診断に必要な問診および身体診察を行い, 必要な基本的検査法, 特殊検査法の選択と実施, ならびに, その結果を総合して診断と病態の評価ができる.
3. 診断に基づき, 個々の症例の心身両面に対応して, 心臓疾患・血管疾患に対する手術療法を適切に選択し, それを安全に実施することができる.
4. 患者とその関係者に, 病態と予後, 外科的治療に関する適応と方法, 期待される効果と合併症の可能性について十分な説明ができる.

研修方略

外科専門医未修得者に対する到達目標	
1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外科専門医修練カリキュラム到達目標1, 2を体得あるいは知識として修得する.</li> <li>・ 小児の正常な発育, 呼吸・循環生理を理解できる.</li> <li>・ 先天性心疾患の病態生理を把握できる.</li> <li>・ 単純な心疾患の術前検査(レントゲン, 心電図, 心臓超音波, 心臓カテーテル, RI など)を総合的に評価できる.</li> <li>・ 心臓血管外科専門医認定機構手術難易度(A)(B)(C)の第二助手, および, 手術難易度(A)の第一助手ができる.</li> <li>・ 心臓血管外科患児の周術期管理を上級医師とともにできる.</li> </ul>
2年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑な心疾患の術前検査(レントゲン, 心電図, 心臓超音波, 心臓カテーテル, RI など)を総合的に評価できる</li> <li>・ 年長児開心術において, 人工心肺カニューレーションができる.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)(C)の第二助手, および, 手術難易度(A)(B)の第一助手ができる.</li> <li>・ 手術難易度(A)の一部手術を指導医のもとでできる.</li> <li>・ 心臓血管外科患児の周術期の呼吸・循環動態を理解でき, 異常所見を早期に発見でき報告できる.</li> </ul>
3年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手術難易度(A)の手術を指導医のもとでできる.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)(C)の第一助手ができる.</li> <li>・ 心臓血管外科患児の周術期の呼吸・循環動態を理解し, 異常所見を早期に発見でき適切に対処できる.</li> </ul>
4年目～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手術難易度(B)の手術を指導医のもとでできる.</li> <li>・ 手術難易度(C)の第一助手ができる.</li> <li>・ 心臓術後患児の急変時に的確な判断ができ, 補助循環など高度医療の適応, 処置ができる.</li> <li>・ 外科専門医修練カリキュラム到達目標4, 5を実践できる.</li> </ul>

外科専門医修得後の到達目標	
1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児の正常な発育, 呼吸・循環生理を理解している.</li> <li>・ 先天性心疾患の病態生理を理解しており, 単純, 複雑心奇形の術前検査(レントゲン, 心電図, 心臓超音波, 心臓カテーテル, RI など)を総合的に評価できる.</li> <li>・ 手術難易度(A)の手術を指導医のもとでできる.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)の第一助手ができる.</li> <li>・ 心臓血管外科患児の周術期の呼吸・循環動態を理解でき, 異常所見を早期に発見でき報告できる.</li> </ul>

2年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑な心疾患の術前検査の結果を評価でき、手術適応、手術方法を判断できる。</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)の手術を指導医のもとできる。</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)(C)の第一助手ができる。</li> <li>・ 心臓術後患者急変時に的確な判断ができ、補助循環など高度医療の適応、処置ができる。</li> <li>・ 外科専門医修練カリキュラム到達目標4, 5を实践できる。</li> </ul>
3年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導医のもと手術経験を積み、3年間に手術難易度(A)30件以上、(B)15件程度を目標とする。</li> <li>・ 後進の外科医の指導ができる。</li> <li>・ 心臓血管外科専門医取得を目標とする。</li> </ul>